

会議録

件名	令和7年度第1回文化財保存活用地域計画作成協議会	作成課	教育委員会 管理部文化財課
日時	令和7年7月16日（水） 10時00分～12時00分		
場所	教育総合センター3階青年会館		
出席者	文化財保存活用地域計画作成協議会委員12人（欠席2人） 事務局7人		
会次第	○報告事項 （1）文化財保存活用地域計画素案について（第5章及び第6章） ○協議事項 （1）文化財保存活用地域計画素案について（第7章及び第8章）		
主な内容等	<p>（○委員 ●事務局）</p> <p>○市の計画であることは分かるが、民間も実施主体である。これだけ取組が列挙されていると、文化財保護は行政がすると思われる。こういう関わり方があるというのが見える方が良いのでは？</p> <p>●現状として、民間の取組を把握できていない。また、市としてはA団体を掲載してなぜB団体を掲載しないのか、という話にもなる。ある程度、情報の整理と、掲載するにあたっての考え方の整理が必要。今回、初めて作る計画なので、まずは庁内の連携から始めていきたいという考えで計画案を作成した。ただし、行政が全面的に取り組むと思われるのは、計画の趣旨と反するので書きぶり等について検討する。</p> <p>○課題が曖昧。根拠となるデータが取れているのか。課題が明確でないと、取組みが確立されていかない。根拠の強度化をしてほしい。</p> <p>●ワークショップの参加者や大学生を対象にアンケートを取っている最中。これまでの文化財の調査は、個別の文化財に対する調査であって、文化財行政に対する調査はあまり行われてきていない。根拠となるデータがあったり無かったりするが、計画に記載するかどうかは別にして、課題ごとの根拠の整理を試みる。</p> <p>○文化財と一言で言っても、多様な主体、多様な地域が関わるからこそ、連携するには合意形成しかないが、課題が複雑だからこそ、合意形成しにくいというジレンマがある。合意形成が図られなかったからこそ、今の状況がある。いかに合意形成できる環境を作っていくのか、というメッセージも重要。行政の役割の1つとして、多様な他者がひざを突き合わせて合意形成を図っていくためのプラットフォームを作っていく事ではないか。民間は利益追求があるので、ひざを突き合わせることは難しい。そのような役割としての描き方もできるのではないか。</p> <p>●ワークショップをしても、横のつながりができていないと思う場面はある。繋がってくださいと言ってつながるものではないので、行政に求められる役割の整理と合わせて検討する。</p>		